

信用保証協会と金融機関の連携①

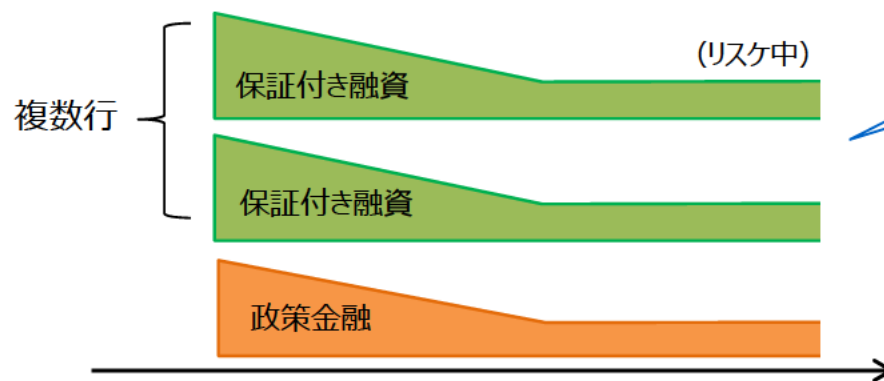
- 信用保証は中小企業の資金繰りを支える重要な制度であり、中小企業の多様な資金需要に一層対応できるものとしていくことが重要である。
- 一方で、信用保証への過度な依存が進んでしまうと、金融機関にとっては、事業性評価融資やその後の期中管理・経営支援への動機が失われるおそれがあるとともに、中小企業の皆様にとっても資金調達が容易になることから、かえって経営改善への意欲が失われるといった副作用も指摘がされており、こうした副作用を抑制しつつ、中小企業の経営改善や生産性向上を一層進めていくための仕組みを構築することが必要。

信用保証に過度に依存している例

【企業概要】業種：事務機器卸売業（業歴約15年）

- ・順調に事業拡大していたが、規制により主力商品の取扱いに陰りが生じた。
- ・新たな収益の柱を造るべく、保証協会・政府系金融機関を利用して資金を調達するも、軌道に乗らず過大な債務を抱えることとなった。
- ・同社は、立て直しが進むまでリスクを希望したが、民間金融機関からの借入は全額が保証協会付きであったため、責任を持つはずのメインバンクが不在であり、債権者間の調整が進まない状況となった。
- ・このためメインバンクに替わって保証協会が主導して対応し、一旦リスクを行ったが、先行きは不透明な状況となっている。

<資金繰りイメージ>

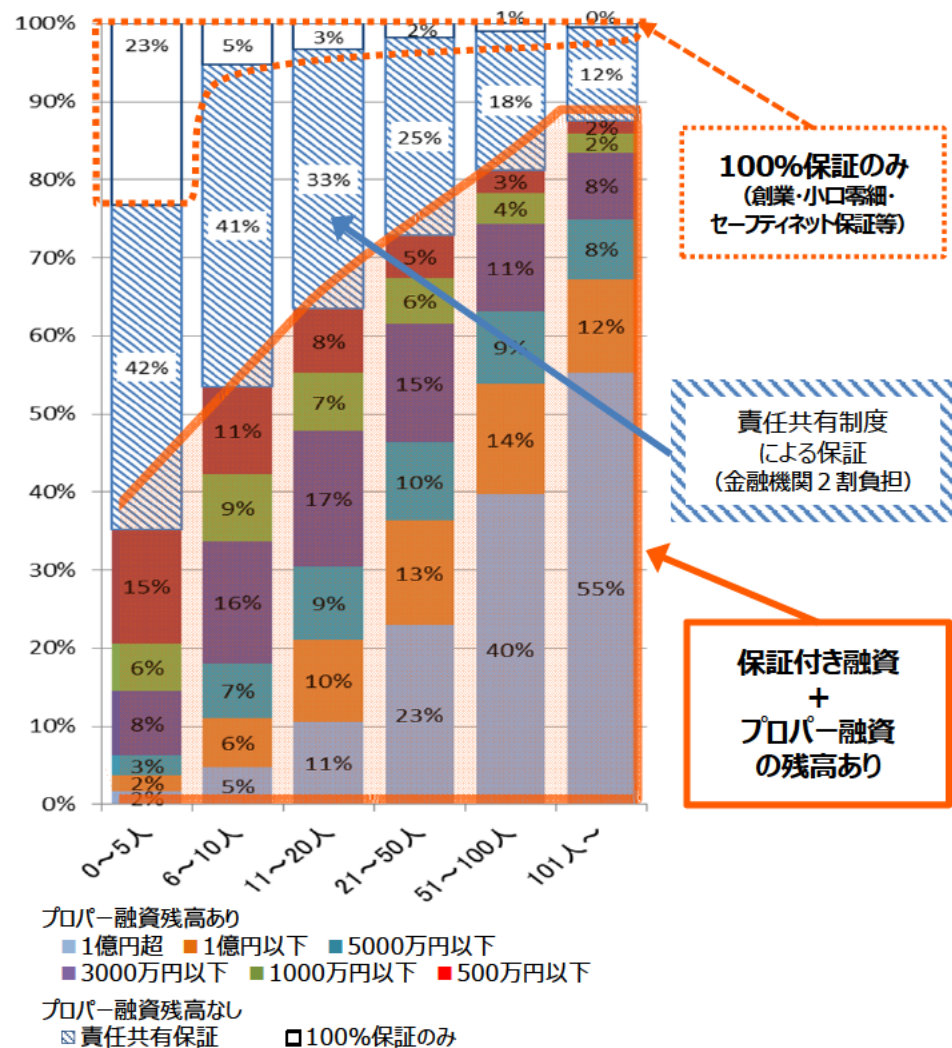


保証協会任せで
メインバンク不在

信用保証協会と金融機関の連携②

- 金融機関にとって、取引先の中小企業に対するプロパー融資を維持することは、自らの損失に繋がらないよう適切な期中管理・経営支援を行うことへの動機となる。こうした点に着目し、今般、保証付き融資とプロパー融資とのリスク分担を進めていく。
- また、本取組の実効性を担保するため、プロパー融資の状況を「見える化」し、定期的に公表する。

(1) 従業員数別のプロパー支援額

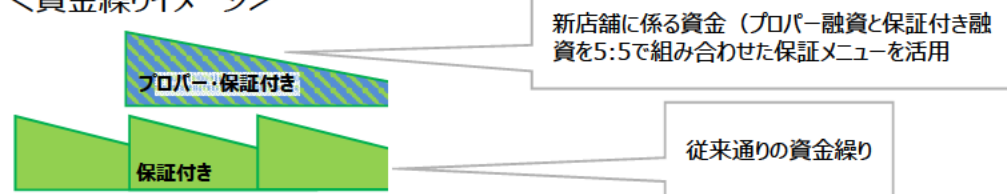


(2) 保証付き融資とプロパー融資を組み合わせた支援例

【事例1】プロパー融資・保証付き融資を5:5で実施 (米・食料品販売業)

・商店街の米屋が売上減少をカバーするため、隣接する空き店舗を賃借し、惣菜販売を開始。そのための資金をプロパー融資、保証付き融資の協調融資により支援した。

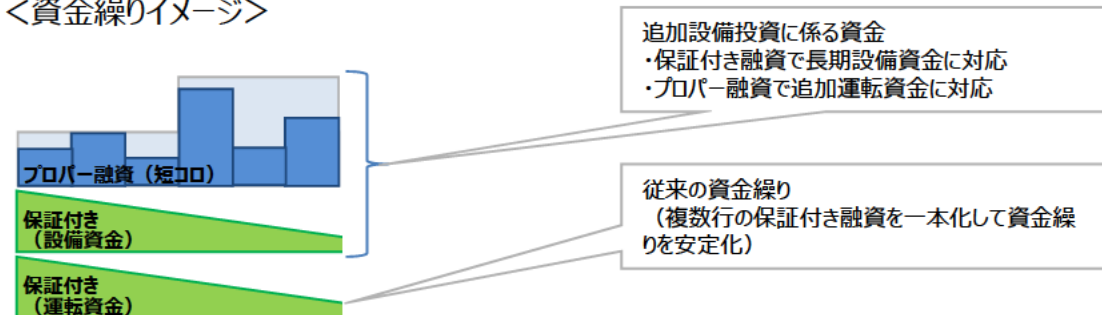
<資金繰りイメージ>



【事例2】金融機関と対話しながら柔軟に行われるリスク分担 (輸入バイクディーラー)

・「要注意先」であったが、事業性に着目し保証協会と金融機関が連携して設備投資で対応し、これにより追加で必要となる運転資金については短期のプロパー融資で対応した。

<資金繰りイメージ>



プロパー融資割合等の「見える化」

- 個々の中小企業の経営の状況に応じた、保証付き融資とプロパー融資との適切なリスク分担の実効性を担保するため、①保証協会別、②金融機関別、③保証協会毎の金融機関別、の3つの区分により、保証付き融資や代位弁済、プロパー融資の状況を「見える化」する。
- 公表については、毎年度、上半期分及び年度全体分の2回を予定（第一回公表は平成30年秋を予定）。

「見える化」（信用保証協会別）イメージ

協会名	保証承諾										保証債務残高（平均）									
	件数					金額					件数					金額				
	うち、100%保証制度					うち、100%保証制度					うち、100%保証制度					【A】				
	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等	【B】	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等				
〇〇県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
△△県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

件数	代位弁済					金額 【C】	代位弁済率					保証承諾案件の 申込時プロパー状況		
	うち、100%保証制度						【D】	【C/A】	【D/B】	プロパー 有り 保証承諾件 数	プロパー 有り 保証承諾件数 割合	プロパー 金額		
	うち創業	うち小口	うちセーフティネット等	うち創業	うち小口								うちセーフティネット等	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

グレー部分については、既に公表中。